

平成29年4月3日

キックオフミーティング チーム着物2020設立趣旨

東京山喜株式会社
中村 健一

- ①東京オリンピックを契機に日本文化と着物文化の素晴らしさを国内外に発信する。
- ②その実現に向け、着物にかかわる個人、企業、団体がチームを組織する。
- ③東京オリンピック、パラリンピックの開会式から閉会式までのすべてのステージで着物が果たせる具体的施策を関係組織に提案し実現する。
- ④Beyond2020に向け着物市場の復興を実現する。
- ⑤日本へ回帰する時代をリードする。

着物の潜在需要は無尽蔵です。しかし、残念ながらその健全な潜在需要の多くは潜在したままで、顕在化していません。日本女性の着物に対する好意的感覚は着物市場が絶頂期にあった40年前に勝るとも劣らない状況ですが、着物の市場規模は往時の10数%程度に低迷が続いています。このトレンドを来たる東京五輪を契機に転換し、着物の潜在需要を顕在化して着物市場を復活させたいと強く願っています。東京オリンピックの主催者は東京都です。東京都オリンピック準備局は大会ビジョンを“スポーツには世界と未来を変える力がある”とし、“史上最もイノベティブで世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。”と宣言しています。又、主催者東京都をバックアップする国は、丸川珠代氏をオリンピック担当大臣に任命し“大会を通じた新しい日本の創造”をスローガンに、復興五輪、地域活性化の為にホストタウン事業の推進、そして日本の文化の魅力発信を目指しています。

主催者東京都とそれを支える国が指し示すビジョンに添いながら着物にかかわる個人、企業、団体が志を一つにし、東京オリンピック、パラリンピックの開会式から、閉会式にいたるすべてのステージで着物が果たせる役割を検討し具体的施策として、東京都、オリンピック組織委員会、JOC、JPCなどの関係組織にチームとして働きかけて、一つでも多くの具体的施策を実現する事を目指したいと考えています。

そして、東京五輪の成功がゴールではなく、Beyond2020つまりその後の時代の潮流を我々着物にかかわるメンバーが、東京五輪をきっかけに着物文化と日本文化の素晴らしさを世界に発信する事で大きく変えて行きたいと願っています。その事が、真の和装振興につながり、ひいては文明化する事の上位価値に文化が来ると言う大きなパラダイムチェンジをリードして行くと思います。

チーム着物2020 キックオフミーティング 出席者

(順不同)

名誉顧問	清水	とき	一般財団法人国際文化きもの学会		理事長
リーダー	中村	健一	東京山喜株式会社		代表取締役社長
サブリーダー	斉藤	上太郎	株式会社三才		代表取締役社長
サブリーダー	高倉	慶応	一般社団法人イマジン・ワンワールド		代表理事
サブリーダー	北川	幸	株式会社 伊と幸		代表取締役社長
	辻本	泰弘	西陣織工業組合		専務理事
	久保	脩	一般財団法人大日本蚕糸会		副会頭
	安藤	俊幸	一般財団法人大日本蚕糸会		常務理事
	伊藤	研人	一般社団法人イマジン・ワンワールド		
	手嶋	信道	一般社団法人イマジン・ワンワールド		
	武内	孝憲	日本きもの連盟		理事
	矢嶋	孝敏	一般財団法人きもの森		理事長
	鈴木	直人	株式会社やまと	きもの戦略室	室長
	天野	豊	きものサローネin日本橋実行委員会		実行委員長
	近藤	尚子	文化学園大学	服装学部・和装文化研究所	教授・所長
	青木	稔	学校法人日本教育財団		理事
	後藤	京子	学校法人日本教育財団	本部学務室	運営責任者
	鈴木	貴子	学校法人織田学園	織田きもの専門学校	学校長
	丸尾	裕美子	学校法人織田学園	織田きもの専門学校 きもの専攻科	課長
	鈴木	宣江	学校法人織田学園	織田きもの専門学校 きもの科	主任
	浅子	堅一郎	株式会社三越伊勢丹	呉服・美術統括部 呉服商品部	商品部長
	櫻井	保生	一般財団法人国際文化きもの学会		常任理事
オブザーバー	杉山	真	経済産業省	製造産業局 生活製品課	課長
オブザーバー	高橋	淳子	経済産業省	製造産業局 生活製品課	課長補佐
オブザーバー	谷	むつえ	農林水産省	生産局 地域対策官	課長
オブザーバー	田久保	邦彦	農林水産省	生産局 地域対策官付地域作物第2班	課長補佐
事務局 局長	渡邊	琢仁	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会		代表
事務局 次長	小尾	妙子	一般財団法人国際文化きもの学会	事務局	
事務局	曾根	珠美	東京山喜株式会社	管理部 人事課	課長